

「見せる倉庫」で市場の新たな活用方法を提示 相模原市場で「国産材トータルコーディネートフェア」を開催 木材利用促進月間にちなみ全国7カ所で木材フェア

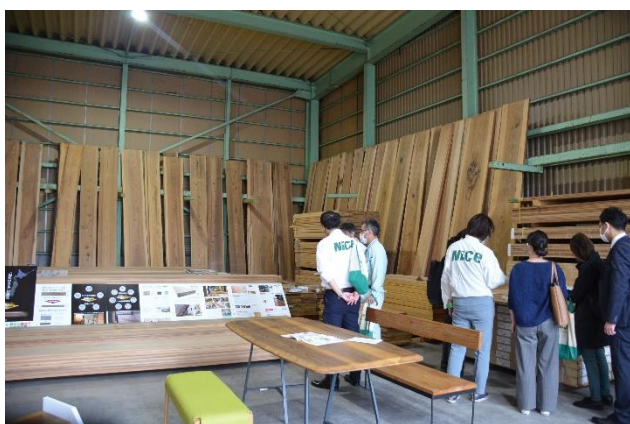
ニュースポイント

ナイス株式会社（杉田 理之社長、本社：神奈川県横浜市）は10月13・14日の2日間にわたり、相模原市場（神奈川県相模原市）において「国産材トータルコーディネートフェア」を開催しました。同フェアは、住宅や建築物において、柱や梁などの構造材をはじめ、内外装材、断熱材、外構材、化粧材、家具材に至るまでの国産材の活用を提案するもので、15社の木材・建材メーカー様が出展し、多種多様な各地の良質な木材や木材製品が市場内に展示されました。

非住宅の木造化・木質化についても併せて訴求し、木造躯体の建て方実演や不燃材の燃焼実験、セミナーなど、非住宅の木造化・木質化の促進に向けた情報を発信しました。また、有力な住設機器メーカー様14社も出展し、温熱環境を整えてZEHを実現するために必須となる最新の省エネ・創エネ機器、ニューノーマルに対応した機器などについて提案がなされました。

その中で、ナイス㈱としては、新たな市場機能のあり方として、今年度に相模原市場内に常設で設置した国産材ショールーム「見せる倉庫」を活用し、脱プラスチック・木質化に向けた新たな提案を行いました。具体的には、ナイスグループオリジナル木材製品である、針葉樹の板の表面を圧縮した「G y w o o d®（ギユッド）」や、大径の飼肥スギの赤身部分だけを使った大径木高耐久赤身材「O b i R E D®（オビレッド）」を使って、各地の製材・建材メーカー様とのコラボレーションにより開発した、木製窓枠や階段、ウッドフェンスなど、内外装における国産材の新たな活用方法を提示しました。また、同フェアを機に新たに設置した、オール国産材仕様の躯体や木質内装材による体感ルームを通じて、国産材を用いた住まいづくりについても紹介しました。

木材利用促進月間が制定されたことにならみ、当社では10月に各地の特色を生かした木材フェアを開催しています。10月7・8日には岡山市場（岡山県瀬戸内市）、10月13・14日には相模原市場及び福岡市場（福岡県糟屋郡）にて開催されました。今後、10月22日には滋賀市場（滋賀県野洲市）及び長野市場（長野県長野市）、10月28・29日には小牧市場（愛知県小牧市）、10月29日にはナイス宮城市場（宮城県黒川郡）において開催いたします。



相模原市場内に設置した国産材ショールーム
「見せる倉庫」



オール国産材による躯体の常設展示により、
住まい全体での国産材利用をご提案

お問い合わせ先

ナイス株式会社 管理本部 広報部 堀井・内野 TEL：045-501-5048 FAX：045-502-5891
〒230-8571 横浜市鶴見区鶴見中央 4-33-1 ナイスビル 8階